

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	八王子美山学園	受審(実施)年度 (※)	令和3年度	施設番号	41 - 0015
-----	---------	-----------------	-------	------	-----------

※第三者評価または利用者調査実施の年度

項目	評価結果に基づく現状分析 (令和3年度)	改善計画 (令和3年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和4年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (令和5年4月30日時点)
事業計画 の実施計 画の進め 方につい て	事業計画はすでに公表されており、職員の行っていることは事業計画の一部を実施しているが、職員の中にその意識が希薄である。	副主任以上を中止とし、事業計画の中で責任を持って受け持つようにし、実施計画を立てるようになると共に、進捗状況の報告をするような仕組みを構築する。	1 実施済み 2 実施予定 (令和4年6月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (令和5年3月) 具体的には以下のとおりです。 委員会、各行事に副主任、主任も責任者として参加しリーダーシップを発揮し実施した。事業計画については職員の意識を高めるため勉強会を実施した。
継続的な 職員研修 の仕組み の確立に ついて	支援員の意見を反映した内容の研修会を実施しているが、その内容が支援に活かされているかのフィードバック等がされていない。	従来通り、支援員の意見を聴きながら計画を立てていく。その際、研修会の内容、実施方法の見直し、またどのように支援に活かされたかの確認を行うようにする。	1 実施済み 2 実施予定 (令和4年9月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (令和5年3月) 具体的には以下のとおりです。 研修はコロナ禍のためほぼオンライン研修だったが支援員の経験年数に合わせ可能な限り参加した。研修後は書類、また全体会議での報告の場を設け職員全体で共有した。
新たな利 用者同士 や家族と の交流の 機会につ いて	新型コロナウイルスの影響で、家族との外出、一時帰宅の機会が激減している。また、利用者の外出機会もほとんどない。	新型コロナウイルスに関する情報を常に集め、どこまで感染予防が必要なのかを見極め、緩和できる部分、引き続き引き締めなければならない部分を随時見直す。また、他施設との情報交換を行い参考にする部分には参考にする。	1 実施済み 2 実施予定 (令和5年3月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (令和5年3月) 具体的には以下のとおりです。 新型コロナウイルス感染症予防については国、都の方針に従い随時、緩和していった。令和4年度は縮小しながらも行事、一泊旅行、外出等実施できた。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とくきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。